

「製造業の業況4期連続上昇しプラスに転じるが、 駆け込み需要の反動で建設業の業況は大幅に悪化」

当所では、藤枝市内小規模事業所の経営動向を把握するため、四半期ごとに景況調査を実施しています。

平成26年4月～6月期の調査がまとまりましたので、概要を報告します。

※本調査は、製造業・建設業・卸売業・小売業・サービス業の5種200社を対象に行っています。今回の回収率は89.5%でした。

【主要な表現について】○業況判断：調査対象企業が自らの業績に下した判断

○DI値：(増加・好転と回答した割合) - (減少・悪化と回答した割合) 悪化すればするほどDI値は▲(マイナス)になります。

管内全産業の業況

業況判断の動向(表1)：建設業は、前回(H26年1月～3月)はDI値13.3と好調に推移していたが、今期は3期ぶりにDI値が▲21.2と落ちこんだ。駆け込み需要の反動という意見が多かった。

全産業売上高の推移(表2)：前回(H26年1月～3月)のDI値は▲9.9であったが、今期は消費税増税の影響で消費の落ち込みが激しく▲26.7と大幅に落ち込んだ。

全産業資金繰りの動向(表3)：DI値はまだマイナスではあるが4期連続でマイナスが減少している。

